

金井善秀外一名、會見アリタルカ、結局相方相譲ラス不調ニ
取ス

一、警署事故

(1) 七月十九日夜十時頃、警署因負ト認メタル、五六名ノ者工場
ニ來リ中二名ハ門扉ヲ排シテ、室内ニ侵入シ、グロブニ人賣ヲ
詰メタルモノ、之個ヲ室内ニ投入、器物汚損ノ上、一名ニ打撲傷
ヲ與ヘテ逃走セリ、所轄區有署ハ被疑者ト認メタル、三名ヲ
取調タルニ嫌疑薄キヲ以テ釋放ス

(2) 七月三十一日夜、警署因負ハ別添「及」ヲ「を」ハ取り云々
ナル傳單ヲ所内ニ貼付セルカ、大谷延市外一名ハ所轄署負ニ
後見檢束サル

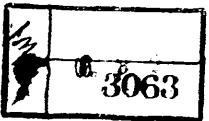
了七月三十一日午、午〇時ヨリ五時、名「本」工場柳場ニ、毎日加工セル富士銅友禪東
城品十三座ヲ置キタルニ、何者カ侵入シテ、硫磺ト認メラルモノヲ、缶ニ金九十三円損ヲ被ラシ
右及申(通)報候也

警署第四一一九號

昭和六年九月十二日

警署總監 高橋守雄

内務大臣 安達謙藏
社會局長 官殿



山田友禪工場勞働争議ニ関スル件 (第三報)

其後争議圓ハ三二四(三名檢束)高志對スル暴行面(未檢束)ヲ行ヒ、其後數圓ニ回リテ決裂ス
論争者數名出テ、各々幹線車主セシク争闘突テ、突見シ得ス、當今警署ハ見込

標記争議前報(八月八月警報第三六一九號)後ノ状況左記ノ通

記

一、勞働者側

八月八日山田、嘉重、山田、日本電氣源自、各工場争議團員及